

2020年8月11日
日本生命保険相互会社
ニッセイ情報テクノロジー株式会社

「帳票読取システム」の特許取得について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「日本生命」）とニッセイ情報テクノロジー株式会社（社長：矢部剛、以下「NISSAY IT」）は、個人保険の保険金・給付金ご請求情報のデータ化にて使用している「帳票読取システム^(*)」（以下「当システム」）について、日本における特許を取得しました。（特許第 6736012 号）

当システムは、非定型書類（領収証等）について、AI（人工知能）技術を用いて項目と値をペアリングし、デジタル利用が可能となるようデータ化するものです。

日本生命ではお客様からいただいた保険金や給付金の請求書類を、専用システムを用いてイメージ画像化およびデータ化する取り組みを行っています。しかし、領収証は病院ごとにフォーマットが異なり、従来のシステムではデータ化ができなかったため、日本生命の事務担当者は請求書類と領収証のイメージ画像を用いて書類点検を目視で行っていました。

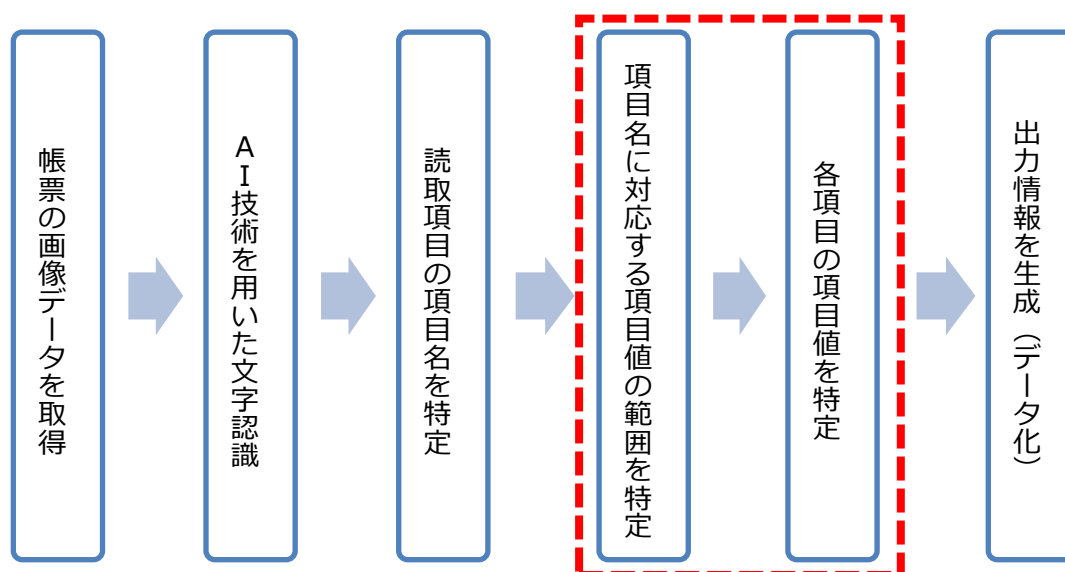
今回、特許を取得しました AI（人工知能）技術を活用した当システムの導入により、非定型書類である領収証についてもデータ化することが可能となり、これまで日本生命の事務担当者が目視で行っていた書類点検作業が自動化されました。

なお、日本生命の特許取得は、2013 年度に取得した「保険金・給付金の請求勧奨案件生成システム」、2015 年度に取得した「営業支援システム」、2016 年度に取得した「訪問準備システム」、2017 年度に取得した「保険手続支援システム」に続き 5 件目となります。

日本生命では、これからも新しい商品・サービスやシステムの開発を通じ、お客様への「安心・安全」の提供に努めてまいります。

また、NISSAY IT は、当システムをサービス化した「READ-IT!!」の提案を通じて新規顧客獲得を目指すとともに、新たなシステム・サービスの開発と充実化に取り組むことで、より多くのお客様のニーズにお応えしてまいります。

(*) 帳票読取システムについて



非定型書類においても、AI 技術を用いて帳票内の項目と値をペアリングしてデータ化

領収証例 1

領 収 証							
患者番号 1234567	名前 日生 太郎	請求期間					
診療料 2100円	入・外	領収証No.	費用区分	負担割合	本・家	区分	
			社保	3割	本人		
保 険	初・再診料	入院料等	医学管理等	在宅療養	検査	画像診断	投薬
	124点		235点				340点
	注射	リハビリ・他	精神科専門療法	処置	手術	麻酔	放射線治療
保 険 外	先進医療	〇〇〇〇病院 〒123-4567 〇〇県〇〇市1-2-3 TEL 012-345-6789					

デジタルデータ (イメージ)

項目	データ値
患者番号	1234567
患者名	日生 太郎
初・再診料	124
医学管理等	235
投薬	340
病院名	〇〇〇〇病院
病院住所	〒123-4567 〇〇県〇〇市1-2-3
病院電話番号	012-345-6789

領収証例 2

領 収 証			
氏名 日生 太郎 様			
患者コード 1234567			
初・再診料	124	負 担 金	2100円
医学管理等	235	保 険 外 金 額	円
在 宅 療 養		優 待 助 成 金	円
投 薬	340	前 回 未 収 金	円
注 射		請 求 金 額	2100円
処 置		今 回 未 収 金	円
手 術			
麻 酔			
検 査			
画 像 診 断			
リハビリ・他			
病 理 診 断			
合 計 点 数	699	領 収 金 額	2100円
〇〇〇〇病院 〒123-4567 〇〇県〇〇市1-2-3 TEL 012-345-6789			

<ご参考>

「保険金・給付金の請求勸奨案件生成システム」の特許取得について

<https://www.nissay.co.jp/news/2013/pdf/20130913a.pdf>

「営業支援システム」の特許取得について

<https://www.nissay.co.jp/news/2015/pdf/20150709.pdf>

「訪問準備システム」の特許取得について

<https://www.nissay.co.jp/news/2016/pdf/20161216.pdf>

保険・共済関連事務における業務効率化サービス「READ-IT!!」の提供開始について

https://www.nissay-it.co.jp/news/pdf/news_190710.pdf

以 上